



IFTA第24回年次大会

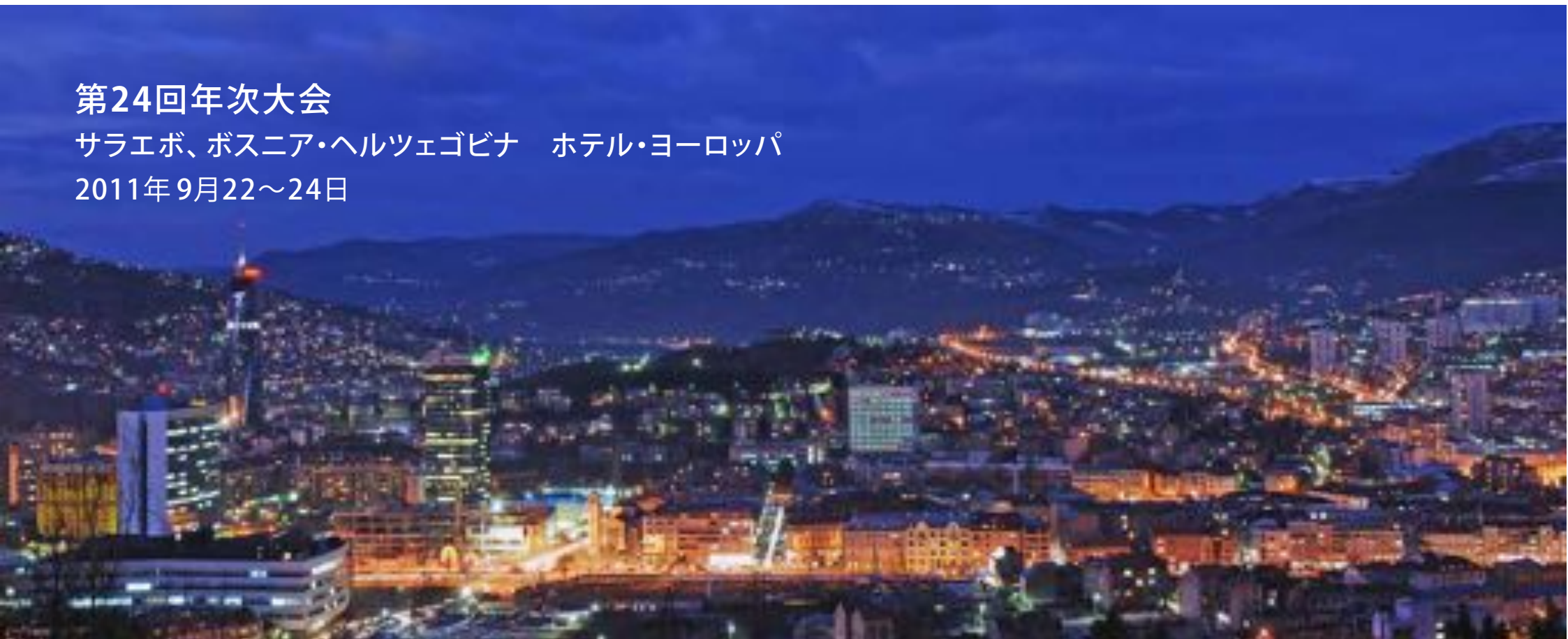
サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ

2011年9月22～24日 ■■■■■■

第24回年次大会

サラエボ、ボスニア・ヘルツェゴビナ ホテル・ヨーロッパ

2011年9月22～24日





IFTA第24回年次大会
サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ
2011年9月22～24日 ■■■■■■

IFTAの友人の皆様へ

24年目(ほぼ四半世紀!)を迎えたIFTA年次大会は、テクニカル分析および関連するトピックの世界的な大会です。テクニカル分析に関する唯一の国際大会であり、ユニークな最先端のトピックを論じるスピーカーを迎えて、毎年世界の違う場所で開催されます。今年はIFTAに新規加入したボスニア・ヘルツェゴビナ協会(SMS)(Drustvo za trzisne studije)が、初めて南東ヨーロッパで開催されるIFTA年次大会を主催します。

大会のトピックは、投資マネジメントのプロセス全体 – 具体的なトレーディング戦略からリスク・マトリクスとファンダメンタル分析の統合まで – へのテクニカル分析の統合、そしてテクニカル分析の機関投資家レベルの投資・商品マネジメントへの組み込みなどです。

SMSはIFTAとの協力により、アジアとヨーロッパと出会う場所、ヨーロッパで最も歴史的魅力にあふれる街であるサラエボに、特別な会場を設定しました。サラエボはユニークな文化的多様性の歴史を持ち、過去の2つの帝国(オーストリア・ハンガリーとオスマン)、世界の宗教(カトリック、正教会、イスラム、ユダヤ教)が何世紀にもわたって融合して、独自の文化を築き上げてきました。その豊かな歴史には、現代の紛争の傷跡も残されているものの、ハプスブルクとオスマンの文化の共存が見られ、わずか3ブロック歩くだけで、小さな聖堂からモスク、ユダヤ教寺院まで見ることができるのです。訪れた人が素晴らしい文化的多様性に迎えられる場所、それがボスニア・ヘルツェゴビナです。

サラエボは山と川に囲まれており、9月は平均気温22℃(華氏72度)とまだ暖かく、年間で最も降水量の少ない時期でもあります。そのため初秋のサラエボと近郊の田園地帯や、海岸まで足を伸ばす人々にとっては、素晴らしい天気にも恵まれる確率が高くなります。

サラエボはアドリア海のダルマチア海岸と、クロアチア海辺のリゾートから3時間もかからない距離にあります。ラゲーザとも呼ばれるドロブニクは、地中海でベネチアと肩を並べるほどの有力な貿易港でした。近年では、重要性を増しつつある、年に1度のサラエボ映画祭など、音楽および文化フェスティバルの中心地ともなっています。

大会のセッションに参加しない人のために、パートナー・プログラムのツアーが用意されています。自分の興味や旅行のニーズに合わせた個別ツアーの設定についてのご相談やご質問は、IFTAとSMSのウェブサイトにて設けられたリンクをご覧ください。最新の情報もこれらのウェブサイトに掲載されます。

裏方として数々の細かい調整を行い、IFTAがサラエボを年次大会の開催地とするために多くの時間を割いて協力し、素晴らしいスピーカーとトピックを用意して下さったIrfan Polimac Emir Tutic (SMS会長) に特別の感謝を捧げます。

また、プロフェッショナルなスキルと経験で多くの詳細を間違いなく進めているGrace JanとLinda Bernetichにも感謝します。

そして最後に、世界のテクニカルアナリストのコミュニティにとって非常に重要なこの大会の開催にご協力くださったすべてのスポンサーに心から感謝します。9月にサラエボで多くの皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

エレイン・クヌース
2011年IFTA年次大会議長

第23回IFTA年次大会(2010年)から

「素晴らしい大会!多くの知識と洞察を得た。非常に優れたスピーカー、なごやかでリラックスした、しかしプロフェッショナルな環境。」

「スピーカーとトピックが多彩で、非常に良かった。行動ファイナンスのプレゼンテーションは、わが社にとって非常に重要なものであり、とてもエンjoyした。」





IFTA第24回年次大会
サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ
2011年9月22~24日 ■■■■■■

スケジュールの概略

2011年5月5日現在

Platinum sponsor

Bloomberg

水曜日

9月21日

プレ・コンファレンス

10:00 - 17:00

登録

12:00 - 17:00

展示の設営

16:00 - 18:00

IFTA年次総会

すべての会員が参加可能

木曜日

9月22日

08:00 - 10:00

コンチネンタル朝食とコーヒー

08:00 - 17:00

登録

08:00 - 17:00

展示オープン

09:00 - 11:00

テクニカル・トークアバウト

11:00 - 11:30

休憩、出展者・スポンサー訪問

14:30 - 15:00

休憩、出展者・スポンサー訪問

11:30 - 17:00

一般セッション

12:30 - 13:30

グループ・ランチ

14:30 - 15:00

休憩、出展者・スポンサー訪問

18:30

ホテルのロビーに集合、

ウォーキング・ツアーに出発

20:00

ホテルに戻り、オープニング・

レセプションとビュッフェ

金曜日

9月23日

08:00 - 10:00

コンチネンタル朝食とコーヒー

08:00 - 17:00

登録

08:00 - 17:00

展示オープン

09:00 - 17:00

一般セッション

11:00 - 11:30

休憩、出展者・スポンサー訪問

12:30 - 13:30

グループ・ランチ

15:30 - 16:00

休憩、出展者・スポンサー訪問

17:00

セッション終了、夜は自由行動

土曜日

9月24日

08:00 - 10:00

コンチネンタル・コーヒーと朝食

08:00 - 17:00

登録

08:00 - 17:00

展示オープン

09:00 - 17:00

一般セッション

11:00 - 11:30

休憩、出展者・スポンサー訪問

12:30 - 13:30

グループ・ランチ

13:30 - 15:30

ワークショップ

15:30 - 16:00

休憩、出展者・スポンサー訪問

16:00 - 17:00

パネル・ディスカッションとまとめ

17:00

セッション終了

19:00 - 23:00

ディナーおよびエンタテイメント



IFTA第24回年次大会
 サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ
 2011年9月22～24日 ■■■■■■

スケジュール

2011年5月5日現在

水曜日

9月21日

プレ・コンファレンス

- 10:00 - 17:00 登録
- 12:00 - 17:00 展示の設営
- 16:00 - 18:00 IFTA年次総会
すべての会員が参加可能

木曜日

9月22日

- 08:00 - 10:00 コンチネンタル朝食とコーヒー
- 08:00 - 17:00 登録
- 08:00 - 17:00 展示オープン
- 09:00 - 11:00 テクニカル・トークアバウト
- 11:00 - 11:30 休憩、出展者・スポンサー訪問
- 11:30 - 12:30 「歓迎の辞」 Kemal Kozarić、
ボスニア・ヘルツェゴビナ中央銀行総裁
- 12:30 - 13:30 グループ・ランチ
- 13:30 - 14:30 「東と西の出会い:短期先物
トレーダーたちはいかにしてスタイルを改革し、
マーケット・プロフィールとローソク足分析の組み合わせ
によってトレーディング・レベルを知るようになったか」
クライブ・ランバート、フューチャーズ・テクス・
ディレクター (英国・ロンドン)
元LIFEフロア・トレーダーであるクライブが、マーケット・
プロフィールを紹介し、ロンドンの短期トレーダーたちが
これを、イントラデイのローソク足チャートとともに広範囲
に使用して、トレード・マネジメントに役立てていることを
紹介します。丸坊主ラインを使用して発見したこと、それが
短期ターニング・ポイントの発見に非常に役立つ (特に雇用
統計や市場に影響する中央銀行の発表など、ニュースに
よって大きな値動きがあったとき) ことも説明します。
- 14:30 - 15:00 休憩、出展者・スポンサー訪問

Silver sponsor

INTALUS.

- 15:00 - 16:00 「一目均衡表のグローバル金融市場への応用」
吉野豊 (CFTe) SMBC日興証券・チーフテクニカルアナリスト (日本・東京)
一目均衡表は「雲」だけではありません。実際、一目均衡表とは、
価格観測、時間観測、波動分析等、多面的な市場分析理論と手法が
体系的に統合されたものです。このプレゼンテーションでは、これらの
理論を現在のグローバル金融市場にどのように応用するかデモン
ストレーションを、欧米ではほとんど行われていない時間予測や波動
分析も含めて行います。これは本IFTA第24回年次大会にて初めて
プレゼンテーションがなされるものです。
- 16:00 - 17:00 「ピボット分析を使ったプロフェッショナル・
トレーダーのためのトレーディング戦略」ジョン・パーソン、
ナショナル・フューチャーズ CEO (米国・シカゴ)
先物の分析・トレーディング歴32年、ピボットポイント分析では世界
有数の権威であるジョンが、最も流動性の高い世界の市場でフロア
およびオフフロアの取引所トレーダーたちが使うテクニカル・
トレーディングの戦略を取り上げ、トレード・シグナル◎を使用した
独自のアルゴリズム一式に基づいて予想されるピボットポイント・
サポート&レジスタンス・レベルを使ったトレード・アイデンティ
フィケーション、エントリー、エグジット、リスク・マネジメント等の
手法を解説します。





IFTA

IFTA第24回年次大会
サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ
2011年9月22~24日 ■■■■■■

Friend of IFTA



金曜日 9月23日

18:30 ホテルのロビーに集合、ウォーキング・ツアーに出発。天候が許せば、サラエボ旧市街の中心部にあるバシュチャルシヤ(Bashcharshiya)へプライベート・ツアーに出かけます。バシュチャルシヤをそぞろ歩けば、過去にタイムスリップしてオスマン帝国時代のサラエボを垣間見ることができます。バシュチャルシヤで最も古い通りの1つがKazandžiluk Street (銅細工師通り)で、かつては大きな銅細工ギルドの一部でした。次に16世紀のガジ・フスレヴ・ベグ・モスクを訪れます。これはヨーロッパで最も重要なイスラム建築の1つです。次に、「古いユダヤ教寺院」を意味する Il Kal Grandiへ。これも16世紀の建物で、14世紀に書かれ、スペインからサラエボに持ち込まれたとされる「サラエボ・ハガダー(典礼書)」があります。

20:00 ホテルに戻り、オープニング・レセプションとビュッフェ形式のディナー



08:00 - 10:00 コンチネンタル朝食とコーヒー
08:00 - 17:00 登録
08:00 - 17:00 展示オープン
09:00 - 10:00 アスヤ銀行スピーカー (トルコ・イスタンブール) (詳細は後日発表)
10:00 - 11:00 「エリオット波動の現代のグローバル金融市場への実践的応用」
宮田直彦 (CFTe) 三菱UFJモルガン・スタンレー・チーフ・テクニカルアナリスト (日本・東京)
ラルフ・ネルソン・エリオットが1930年代に開発した波動原理を現代の金融市場に効果的に応用するには、原理の理論的理解だけでは不十分です。日本を代表するテクニカル・アナリストが、複数のテクニカル分析ツール(サイクル分析、トレンド転換の時間帯(変化日ゾーン) 予想、欧米で開発され使われているオシレーター、ローソク足など日本で広く使われているテクニカル・ツール等)をエリオット波動原理に組み込んだ分析に基づいて、機関投資家のクライアントにどのようなアドバイスをしているのか、実際の例を挙げて説明します。

11:00 - 11:30 休憩、出展者・スポンサー訪問

11:30 - 12:30 「行動経済学と金融理論を分析にどのように組み込むか」リック・ベンシニョール、
ダールマン・ローズ&カンパニー・チーフ・マーケット・ストラテジスト兼リサーチ・アナリスト (米国・ニューヨーク)

リックは複数の非伝統的な行動分析モデルを使って、トレンドが終焉する可能性が高い時間・価格ゾーンを特定し、相場の正確なターニング・ポイントを見極めます——しばしば、伝統的なファンダメンタル・アナリストが変化の兆しに気付く何カ月も前に。この成功により、ポートフォリオ・マネジャーはベンチマークをアウトパフォームする確率を上げることができます。大会ではその方法を詳しく紹介します。

12:30 - 13:30 グループ・ランチ

13:30 - 14:30 「コモディティに投資する際のポートフォリオ・マネジャーとクライアントの課題」 エドワード・エニス、
ロスチャイルド銀行 シニア・バイス・プレジデント (スイス・チューリヒ)
エドワードは、マーケットと業界の豊富な知識と分析エンジニアリングの経験を生かし、富裕層個人顧客のためのテーラーメイドの革新的な投資ソリューションの開発に従事しています。ボラティリティ、コモディティ相関分析、価格モメンタム、リスク分析などが組み込まれています。

14:30 - 15:30 ハンス・ビュイス、シン・キャブ、パートナー (ベルギー・ブリュッセル) (タイトルとトークは後日発表)

15:30 - 16:00 休憩、出展者・スポンサー訪問



IFTA第24回年次大会
 サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ
 2011年9月22～24日 ■■■■■■

Banner Sponsor

**DAVENPORT
 ADVISORS**

土曜日
 9月24日

16:00 - 17:00 「求められる判断力:ダイナミックな経済のための分別あるファイナンス」アマル・ビデ、タフツ大学法律外交大学院、トーマス・シュミットハイニー、教授 (米国・マサチューセッツ州・メドフォード)

ビデ教授は、誤った価格決定理論と間違った規制の組み合わせが、いかに現実の経済と資本市場の間に危険な乖離を生んできたかを論じます。セッションの後はグループ・ディスカッションを行います。

17:00 セッション終了、夜は自由行動

08:00 - 10:00 コンチネンタル朝食とコーヒー

08:00 - 17:00 登録

08:00 - 17:00 展示オープン

09:00 - 10:00 「トレンドウェーブ・トレーディング:トレンド・フォローの規律に従いながらエリオット波動原理のパワーを利用する」マレー・ガン、HSBC銀行・テクニカル分析部長 (英国・ロンドン)

トレンド・フォロー戦略は一見簡単そうで、市場を後から検証するときには最も論理的ですが、現実にはトレンド・フォロー戦略を使うトレーダーやマネジャーに多くの困難を突きつけます。マレーは真のトレンド・フォロー・アプローチの障害を克服する方法を提示します。

10:00 - 11:00 「伝統的VAR分析とテクニカルVAR分析の比較:その結果が教えるもの」グイド・リオロ、ブルームバーグ・シニア・アナリスト (ロンドン・英国) (詳細は後日発表)

11:00 - 11:30 休憩、出展者・スポンサー訪問

11:30 - 12:30 「フィデリティにおけるテクニカルリサーチ:その舞台裏」デービッド・ケラー、フィデリティ・インベストメンツ・リサーチ担当マネージング・ディレクター (米国・ボストン)

伝統的なミューチュアル・ファンド運用会社がなぜ、テクニカル・アナリストのチームを雇うのか?デービッド・ケラーが、フィデリティのファンド・マネジャーたちがどのようにテクニカル分析を

投資プロセスに組み込んでいるか、彼の部署がいかにしてテクニカル・ツールキットを長期的なエクイティ戦略に適合させているか、そして投資家たちがファンダメンタル・アプローチにタイミング・アスペクトを加えることによって、どのように優れた利益を生むことができるか、その「舞台裏」を話します。また、フィデリティのチャートルームで、市場の過去の動きの分析を可能にしている市場力学の先進的な視覚化についても話します。

12:30 - 13:30 グループ・ランチ

13:30 - 15:30 グループ・ワークショップ

- ・投資商品開発のためのアルゴリズム・モデリングの応用
- ・あなたの組織の投資・リスク管理へのテクニカル分析の応用
- ・新興市場の見通し:テクニカル分析ベースの分析
- ・流動性のある市場のための短期トレーディングおよびリスク管理戦略

15:30 - 16:00 ワークショップのまとめとプレゼンテーション

16:00 - 17:00 ネットワーキング、スポンサー訪問

19:30 - 23:00 デイナーとエンタテイメント

(SevdalinkaからLadinoまで、ムスリム、トルコ、スペイン、アラブ、ギリシャの影響を受けたボスニアの音楽)。

18世紀のボスニア貴族の邸宅、Svrzoハウスにて。

このイベントは禁煙です。





IFTA第24回年次大会
サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ
2011年9月22～24日 ■■■■■■

大会参加料金

2011年5月5日現在



Media Partners



料金(米ドル)	7月17日以前	7月17日以降	現地
IFTA会員	\$1000	\$1150	\$1300
IFTA会員以外	\$1150	\$1300	\$1450

デイ・パス料金

注：デイ・パスは最大2日分まで購入することができます。

料金(米ドル)	9月22日 (木) (レセプション、ディナー含む)	9月23日 (金)	9月24日 (土) (夜のイベント含む)
IFTA会員	\$380	\$350	\$380
IFTA会員以外	\$480	\$450	\$480

パートナー・プログラム料金

料金(米ドル)	7月17日以前	7月17日以降	現地
パートナー	\$380	\$380	\$380

IFTAのウェブサイト (www.ifta.org) でのオンライン登録が確実です。

プログラムの内容は更新・変更されることがあります。

スピーカー紹介

2011年5月5日現在

リック・ベンシニョール

ダールマン・ローズ&カンパニー(DRCO)
チーフ・マーケット・ストラテジスト兼リサーチ・アナリスト



金融サービス業界でおよそ30年の経験を持つ。以前はロンドンに本拠を置く投資銀行の米国部門であるExecution Noble LLCでチーフ・マーケット・ストラテジストを務め、2006～2008年はMorgan Stanley Principal Strategiesでチーフ・マーケット・ストラテジストとして同社のプロプライエタリー・トレーダーに戦略的投資・戦術的トレーディングのアイデアを提供していた。

ニューヨーク大学非常勤講師として、最近では行動経済学および金融理論、以前はトレーディングとテクニカル分析の講義を行う。著書「New Thinking in Technical Analysis: Trading Models from the Masters」を2000年に出版したほか、「Investor's Business Daily Guide to the Markets」の先物取引の章を執筆。大手金融ニュース専門TVにしばしば出演し、主要な世界的金融メディアにも発言がよく引用されている。

アマール・ビデ

タフツ大学法律外交大学院トーマス・シュミットハイニー教授



「A Call for Judgment: Sensible Finance for a Dynamic Economy」(オックスフォード大学出版局、2010年)の著者。2008年の著書「The Venturesome Economy: How Innovation Sustains Prosperity in a More Connected World」(プリンストン大学出版局、2008年)は米国出版社協会の「ビジネス、金融、マネジメントにおける職業的・学問的卓越のためのPROSE賞」を受賞、エコノミスト、ビジネスウィーク、ハロズ各誌で2008年の最良の本のリスト

に入った。センター・オン・キャピタリズム&ソサエティの創立メンバーであり、その名を冠したジャーナルCapitalism and Society (パークレー・エレクトロニック・プレス刊)の創刊を主導、編集に携わっている(Edmund Phelps教授とともに)。かつてはコロンビア大学のLaurence D. Glaubinger教授職(経営学)を務めた。ハーバード・ビジネス・スクール(1988～2000年)、シカゴ大学経営大学院でも教鞭をとった。マッキンゼー&カンパニーのシニア・エンゲージメント・マネジャー、E.F. Huttonのプロプライエタリー・トレーダーの経験もあり、株価暴落の原因を調査したブレディ委員会のスタッフを務めた。DBA(経営学博士、1988年)、MBA(経営学修士)。ハーバードのベーカー・スカラー(1979年)になるなど優秀な成績を収めた。1977年、インド工科大学よりB.Tech(科学技術学士)の学位授与。金融市場とガバナンスに関する論文には、Journal of Financial Economicsに発表された「The Hidden Costs of Stock Market Liquidity」、Journal of Applied Corporate Financeの記事などがある。ウォールストリートジャーナル、ニューヨークタイムズ、ビジネスウィーク、フォーブス、フィナンシャル・タイムズ、LAタイムズにも多くの記事を書いている。

ハンス・ビュイス

シン・キャブのパートナー
ベルギー・ブリュッセル

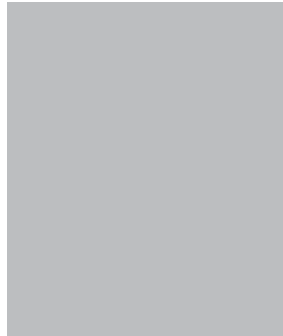


1989年にパリバ銀行のファイナンシャル・アナリストとしてキャリアをスタートさせて以来、コーポレート・ファイナンスに従事してきた。Katholieke Leuven Univeriteitのファイナンス学部でリサーチ・アシスタントを務めた経験があり、1992～1997年にはフォルティス銀行で金融市場部門のアシスタント・グループ・トレジャラー、クレジット部門のローン・オフィサーとして勤務。

1997年デロイト・トウシュに、査定・M&A・リストラクチャリング関係を専門とするコーポレート・ファイナンス担当ディレクターとして入社。2000～2007年はKPMG ベルギーに勤務、2005年にアドバイザリー部門(コーポレート・ファイナンス)のパートナーに就任。2007年、NIBC Bank NVに移ってベルギーM&A部門の長となり、インフラや再生エネルギー関連の案件を成立させる。2008年、Dircomの一員であるCodic Group NVに、6カ国でのファイナンス、ヘッジング、金融戦略を担当するCFOとして入社した。2009年9月からシン・キャブ・ベルギーで、M&A取引、ストラクチャード・ファイナンス&デット・アドバイザリー/リストラクチャリングを担当している。ブリュッセルでエクイティ査定担当教授、アムステルダムのVrije Universiteitで金融・財務担当教授。Vlerick Leuven Gent Management Schoolでも教えている。ブリュッセルのVlegkho で応用経済学を学び、1990年、ブリュッセルのF.I.M.を卒業した(経営学修士)。ヨーロッパ公認ファイナンシャル・アナリスト(CEFA)でもあり、ブリュッセルのFHSから税務管理の学位も得ている。

エドワード・エニス

ロスチャイルド銀行・シニア・バイス・プレジデント
スイス



チューリヒのロスチャイルド・プライベート・バンクのシニアバイスプレジデント、コモディティ部長。コモディティ・リサーチ、関連のエクイティ関係リサーチ、コモディティ投資手段のリサーチを担当。またコモディティ部門の商品開発・選択も行うほか、世界の不動産のリサーチなどオルタナティブも担当、商品ストラクチャリングの監督も行う。マーケットと業界の知識を生かし、

プライベートのクライアントのために革新的な投資ソリューションを開発している。以前はエンジニアとしてエネルギー関連企業の経済学・査定部門や投資家向け広報部門に勤務したこともある。その後ロンドンの投資銀行に移り、2003年にプライベート・バンキング部門へと転職した。

マレー・ガン

HSBC銀行・テクニカル分析・グローバルリサーチ部長



HSBCのテクニカル分析部長として、FXのクロスアセット・マーケット、金利、エクイティ指数、金属・コモディティをカバー。2010年に現職に就任するまでは、20年のキャリアのほとんどをエクイティ、債券、通貨市場のポートフォリオ・マネジャーとして運用サイドで過ごしてきた。マーケットの振る舞いと、そこからいかに利益を得るかを論じた革新的な

著作「Trading Regime Analysis」の著者でもある。検定テクニカルアナリスト(CFTe)であり、1990年代初頭からテクニカル分析を使って投資やトレーディングを行ってきた。

デービッド・ケラー (CMT)

リサーチ担当マネージング・ディレクター、
フィデリティ・インベストメンツ、米国・ボストン



ケラーはフィデリティ・マネジメン・
アンド・リサーチのテクニカル分析
チームと、伝説的なフィデリティ・
チャートルームを率いる。
CMTの資格を持ち、現在MTAの会長と
MTA教育財団の理事を務めている。
米国プロフェッショナル・テクニカル
アナリスト協会 (AAPTA) および国際
テクニカル・アナリスト連盟(IFTA)会員。
かつてニューヨークのブルームバーグ
でテクニカル分析アプリケーション・

スペシャリストを務め、Bloomberg Markets誌に定期的に寄稿して
いた。2007年8月にブルームバーグ・プレスから出版された
「Breakthroughs in Technical Analysis: New Thinking from the
World's Top Minds」の編集者。
オハイオ州立大学で音楽と心理学の学位を取得した。

ケメル・コザリック

ボスニア・ヘルツェゴビナ中央銀行総裁
ボスニア・ヘルツェゴビナ・サラエボ



1981年サラエボ大学卒業 (経済学部
マーケティング学科)。
論文「欧州連合への途上にある
ボスニア・ヘルツェゴビナの通貨
政策モデルの展望」で修士号を取得。
その後Central Profit Banka
D.D. Sarajevo (旧Privredna Banka
SarajevoすなわちKreditna banka)
に入行。支店長、City Savings Bank
頭取補佐、個人向け業務担当取締役、
総務担当取締役、資産投資部長を歴任。

1996年から2000年初めまでサラエボ県財務相を務めた後、ボスニア・
ヘルツェゴビナ中央銀行の副総裁に。ボスニア・ヘルツェゴビナ
大統領の決定により、2003年5月20日から中央銀行理事会メンバー
となり、理事会決定により副総裁の地位にとどまる。
2005年1月1日から中央銀行総裁。中央アジア・黒海地域・
バルカン諸国中央銀行総裁クラブの副議長を務めた。

クライブ・ランバート (CFTe)

フューチャー・テック、CEO
英国・ロンドン



MSTAで、UKソサエティの元理事。
フューチャー・テックの創業者で
ディレクターを務める。
フューチャー・テックは2000年設立の
独立したテクニカル分析会社で、
多様なアセット・クラスのレポートを
毎日トレーダー、ブローカー、ファンド・
マネジャー向けに提供している。
ランバートはLIFFEフロアのプロカーを
10年間務めた後、フューチャー・テックを
設立した。

2009年に出版された「Candlestick Charts」の著者で、テクニカル分析
に関する巧みな講演で知られる。フューチャー・テックは2010年、
テクニカル・アナリスト・マガジン賞の「最良の債券・金利リサーチ」
賞を受賞した。

宮田直彦 (CFTe)

三菱UFJモルガン・スタンレー証券
チーフ・テクニカルアナリスト、日本・東京



三菱UFJモルガン・スタンレー証券のチーフ・テクニカルアナリストとして、日本および海外の投資家に、テクニカル分析をベースとしたマーケット分析を提供。エリオット波動原理の実践応用における第一人者とされており、日本で最も有名なテクニカル・アナリストの1人。

2010年日経アナリスト・ランキングでは、マーケット・アナリスト部門で2位にランクされた。そのマーケット分析とコメントは金融関係の報道でしばしば引用され、機関投資家および個人投資家が常に注目している。テクニカル・アナリストとしての地位を確立する前は、先物およびオプションのトレーダーだった。1989～1991年、エジプトに留学。

ジョン・パーソン

ナショナル・フューチャーズ、CEO



先物およびオプション・トレーディング業界で32年の経験を持つベテラン。その経歴は1979年、シカゴ・マーカントイル取引所 (CME) のフロアから始まる。CMEは外国為替取引を開始した最初の取引所である。そして彼は確率的指標を改革したジョージ・レインと一緒に働くという栄誉に恵まれた。ジョンはピボットポイント分析では世界有数の権威である。

週刊ニュースレター The Bottom Line Financial Reportの編集者であり、CNBCへの出演も多く、彼の発言はメディアで広く引用される。最初の本である「A Complete Guide to Technical Trading Tactics」(出版社はJohn Wiley and Sons)は、ローソク足とピボットポイント分析のそれぞれの長所の結合を初めて提唱した。2冊目の「Candlestick and Pivot Point Trading Triggers」は、エントリーとエグジットにピボットポイント分析をいつ、どのように使うべきかをさらに詳しく解説している。ジョン・パーソンが執筆した本とトレーディング講座の購入はこちらをクリック。

吉野豊 (CFTe)

SMBC日興証券
チーフ・テクニカルアナリスト、日本・東京



日本で最も高く評価されているテクニカル・アナリストの1人。日経アナリストランキングのマーケットアナリスト部門で、2010年3位、2008年と2009年には2位を獲得した。SMBC日興証券(旧日興コーディアル証券)に入社する前は、日興ソロモン・ブラザーズに12年間勤務、機関投資家にテクニカル分析をベースとするマーケット分析を提供した。佐々木英信氏(一目均衡表のユニークな応用と正確な市場予測で知られ、

日経アナリストランキングのテクニカルアナリスト部門で最長の9年連続1位に選ばれ、最近他界した著名なテクニカル・アナリスト)と仕事で密接に協業し、一目均衡表の応用では日本でトップのアナリストと言われている。



IFTA第24回年次大会

サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ

2011年9月22～24日 ■■■■■■

ゲストツアー

3日間とも、交通手段と食事付きのパーソナルなツアーが用意されています。英語を話す現地ガイドのチームが同行します。彼らは経験豊かなグループ・リーダーであり、この土地と人々、伝統、歴史を熟知しています。ボスニア・ヘルツェゴビナを知り、経験するまたとない機会です。

パートナー・プログラムはすべてのイブニング・アクティビティを含みます。

Powered by



1日目：

サラエボ市のパノラマとトンネルのツアー



IFTA第24回年次大会

サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ

2011年9月22～24日 ■■■■■■



サラエボはヨーロッパで最も文化的多様性に富む都市の1つであり、300年以上のオスマン・トルコ帝国の治世を経て、19世紀後半にオーストリア・ハンガリー帝国の統治下に入りました。50年後、第1次世界大戦の勃発とともにオーストリア・ハンガリー帝国が崩壊。20世紀後半には、サラエボで冬季オリンピック(1984年)が開催されたものの、そのわずか10年後にはユーゴスラビアの解体に伴う紛争で、サラエボは長期間にわたり包囲されることとなります。サラエボの歴史的・文化的中心地を巡るツアーでは、この街の複雑で魅力あふれる歴史の断片をつなぎ合わせることができるでしょう。ガイドとともに、中世のサラエボの発祥の地である「オールド・タウン」、Brusa Bezistan(交易所)、バシュチャルシヤ(オールドタウンの中心広場)の近くで銅細工師が仕事をするKazandziluk Street(銅細工師通り)を訪れます。

サラエボは重要な文化の交差点であり、ヨーロッパでは「リトル・エルサレム」として知られるようになりました。数ブロック歩くだけで、サラエボの最初のシナゴーク、1581年にオスマンの篤志家の援助で建てられたVelika Avlija、ビザンチンの重要な聖画像を所蔵する正教会(1539年完成)、ローマカトリックの大聖堂を訪れることができます。

ツアーでは、第1次世界大戦のきっかけになったと言われる、1914年6月28日のフェルディナント大公暗殺事件の現場であるラテン橋も訪れます。その後、伝統的なボスニア料理のレストランInat Kucaで昼食をとり、サラエボ・トンネルを見学。これは1993年に、包囲されたサラエボの市民が食料や援助物資を運びこむために建設したものです。

持ち物：

- ・ウォーキング・シューズ
- ・カメラ



2日目：
Umoljani 村



IFTA第24回年次大会
サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ
2011年9月22～24日 ■■■■■■

ボスニア・ヘルツェゴビナには、民間伝承や食物、伝統的な建物、生活様式で知られる高地の村がいくつかあります。Umoljani は伝統的な簡素なモスク、滝、山村、多数の中世の墓石で有名です。Umoljani村の伝統的な様式のボスニアン・モスクから、7つの風車と美しい水源地までトレッキングします。この水は何世紀もの間、小麦を挽いて粉にするための動力に使われてきたのです。尾根伝いに行くと、Rakitnica峡谷(これが北の端、南の端はNeretva峡谷)の壮大な景色が目の前に開けます。20分でStudeni Potokの滝に到着。ここでは春と夏の降雨量によって、1年のある時期には水が下の峡谷へ400メートルも落下します。上流へ向かうとStudeno Polje(野原)峡谷と蛇行するStudeni Potok(流れ)が見えてきます。ここではObaljのすばらしい眺めと、長く平らなStudeno Polje峡谷を見ることができます。ハイキングの出発点だった羊飼いの夏の村Gradinaまでは歩いてすぐ。疲れすぎない快適な散歩です。美しい景色を見て、Visocica山やTreskavica山からの涼しい風に吹かれれば、ストレスも吹き飛びます。昼食は地元の家族と食べ、伝統的な高地の音楽を楽しみます。それでも足りなければ、1日の終わりに、Umoljaniのすぐ下のなだらかな丘に並ぶStecci(ユネスコの世界遺産候補となっている中世初期の墓石)の間をそぞろ歩いてもいいでしょう。

持ち物：

- ・ハイキング・シューズ / 頑丈なウォーキング・シューズ
- ・デイパック
- ・水1リットル
- ・雨具
- ・日除け帽
- ・カメラ

3日目：

モスタル、ヘルツェゴビナのオリエントの宝石



H4Md

IFTA第24回年次大会

サラエボ | ボスニア・ヘルツェゴビナ

2011年9月22～24日 ■■■■■■

昼前と午後の早い時間に、オスマン時代の交易の中心地であったヘルツェゴビナのネレットバ (Neretva)川沿いの都市、モスタルを探検します。モスタルについては皆さんいろいろとお聞きになったことがあると思います。1990年代初めの紛争では市が分裂しました。

その傷跡は今も残っていますが、モスタルは再び、興味深い歴史と類まれな建築物を持つ、温かい魅力的な都市としてよみがえりました。

朝食はネレットバ川にかかるスタリ・モスト (古い橋)を見下ろすレストランで食べます。モスタルの次は、時間が許せば近くのBlagaj村を訪れます。

この村の見どころはブナ湧水とその近くのオスマン時代の僧院。湧水は200メートルの絶壁から湧き出してブナ川となります。

当然のことながら、オスマン帝国の皇帝はこの風景に感銘を受け、すぐ隣にtekijaを建てることを命じました。この16世紀の家 / 僧院はイスラム教の修行僧の儀式のために建てられ、今でもボスニア・ヘルツェゴビナで最も神秘的な場所の1つです。

Blagajのオールド・タウンは歩いてみる価値があります。このゆったりとしたヘルツェゴビナの町はスローペースで動いており、古い建物の多くはオスマン帝国の時代をしのばせます。

持ち物：

- ・ 街着
- ・ カメラ

旅行保険：

- ・ ツアーに参加するためには、保険に加入する必要があります。保険代理店に、あなた保険証券がボスニア・ヘルツェゴビナをカバーしているかどうかをご確認ください。

ホテルと旅行情報

Hotel Europe / ホテル・ヨーロッパ

Vladislava Skarića 5, 71000 Sarajevo, BiH
+387(0)33 580 400 / +387(0)33 580 500 / +387(0)33 580 580 fax
reception@hoteleurope.ba / reservation@hoteleurope.ba
www.hoteleurope.ba

1882年、サラエボの中のオリエントとヨーロッパが交差する場所に建てられたホテル・ヨーロッパは、2つの世界の最も優れた特質を備えています。サラエボの中心に位置し、126年の豊かな伝統を持つホテル・ヨーロッパは、再びサラエボの中心となりました。最高のホスピタリティ水準を備え、スタッフはいつでもあなたのご要望にお応えします。豪華な客室が160室、スイートが10(うち2つはプレジデンシャル)、充実した設備の大会用ホールが4つ、そしてリッチなウェルネス・センターにはフィットネス設備、スイミングプール、サウナ、ターキッシュバス、マッサージルーム、ビューティリートメントを完備。ワイヤレス・インターネットも利用できます。



ご予約の際は、IFTA大会に出席するとお伝えいただければ、2011年8月1日まで有効の大会宿泊料金が適用されます。

1/1 ベッド&バス	144,00KM
1/2 ベッド&バス	195,00KM
スイートルーム	245,00KM

料金には宿泊および朝食が含まれます。
上記の料金には付加価値税17%、2,00KMの税金、
1人1日0,50KMの保険料は含まれません。

通貨

- ・ ボスニアマルク、KM=0.75 米ドル

www.oanda.com

サラエボに乗り入れている航空会社

サラエボ国際空港 (コード: SJJ)

B&H航空/ オーストリア航空/ ルフトハンザ/
クロアチア航空/Germanwings / Adria / トルコ空港/
JAT Airways / ユナイテッド/ SAS

旅行および観光情報は、SONAR Explore Sarajevoのウェブサイトへ。

- ・ www.sonar.ba/index.php?lang=en

ボスニア・ヘルツェゴビナ外務省のウェブサイトにも、旅行と必要なビザについての情報があります。

- ・ www.mfa.ba

気候

- ・ 9月の気候はおだやかでまだ暖かく、平均気温は22℃ (華氏72度)、1年で最も降水量が少ない季節です。